

南アフリカにおけるエポキシ樹脂中間体製造合弁会社設立の件

住友化学は、このたび、クレゾール酸の大手専門メーカーであるメリゾール社（本社：英国 ギルフォード）と南アフリカ共和国においてオルソクレゾールノボラック(OCN)を製造する合弁会社、住化メリゾール RSA(Pty)Ltd（略称 SMRSA）を設立し、設備を新設することといたしました。

メリゾール社は、現在、住友化学が OCN 製造に消費しているオルソクレゾールの大半を供給していますが、SMRSA は、住友化学の技術に基づき、メリゾール社から供給されるオルソクレゾールを原料として OCN を製造し、全量、住友化学に供給いたします。新工場は、南アフリカ サゾールブルクのサゾール社工場内に建設を開始いたしました。設備投資額は6百万ドルで、本年10月に稼働開始を予定しております。

住友化学は、現在、愛媛工場で OCN を生産し、それを中間原料として半導体封止材料用オルソクレゾール型エポキシ樹脂(ECN)を生産しておりますが、近々、需要が増大している ECN の生産能力を増強することとしており、今回の新設備はこの増強に対応するものです。

この新合弁会社は、住友化学にとっては南アフリカでの初めての製造拠点になるとともに、住友化学の大分工場内にあるメタパラクレゾール製造の合弁会社に次いで、住友化学とメリゾール社による二番目の合弁会社となります。

新合弁会社の概要

1. 社名	住化メリゾール RSA(Pty)Ltd（略称 SMRSA）
2. 本社	南アフリカ共和国 ヨハネスブルク
3. 社長	ケネス・F・カリー
4. 設立	2001年1月
5. 製造開始	2001年10月 予定
6. 資本金	14百万ランド
7. 出資比率	住友化学 80% メリゾール 20%

メリゾール社の概要

1. 本社	英国 ギルフォード
2. 社長	ケネス・F・カリー
3. 設立	1997年10月
4. 営業内容	クレゾール酸の製造・販売
5. 売上高	135百万 US\$（2000年6月期）
6. 出資比率	メリケム社（米国 ヒューストン） 50% サゾール社（南アフリカ ヨハネスブルグ） 50%
7. 従業員数	300名

以上